

# 警備業の財務分析

2022年5月18日

城南支部財務診断研究会

中小企業診断士 住田剛之

# はじめに

- 自己紹介

住田剛之（SUMITA Takeshi） 2018年11月登録／企業内診断士

東海旅客鉄道株式会社（ＪＲ東海）勤務

経歴：東海道新幹線の運行計画・管理、乗務員養成・教育

’19.7～現在 新幹線IC乗車券のコールセンター管理

- 本日の内容（警備業）

- ①産業分類

- ②警備業の定義、業界の歴史、市場動向

- ③警備業務の区分、業界の構造、将来展望、課題

- ④分析三社の概要、セグメント情報等、課題（将来構想）

# 産業分類（日本標準産業分類）

大分類 R サービス業（他に分類されないもの）

中分類 92 その他の事業サービス業

小分類	923	警備業
	9231	警備業

# 警備業とは

## 業種の定義

施設における盗難等の事故発生の警戒および防止、人身の安全確保、貴重品等の運搬の際の盗難等の事故発生の警戒および防止を行う業務である。

主な警備業務は、労働集約的な施設警備や交通・雑踏警備、機械を利用する機械警備などがあげられる。

（第14次業種別審査事典より引用）

Q：守衛と警備員の違いは？

：事業を営むにあたり制約は？

# 警備業とは

## 警備業法によると

### 定義 第二条

第1項 この法律において「警備業務」とは、次の各号のいずれかに該当する業務であつて、**他人の需要に応じて行う**ものをいう。

第一号 事務所、住宅、興行場、駐車場、遊園地等における盗難等の事故の発生を警戒し、防止する業務

第二号 人若しくは車両の雑踏する場所又はこれらの通行に危険のある場所における負傷等の事故の発生を警戒し、防止する業務

第三号 運搬中の現金、貴金属、美術品等に係る盗難等の事故の発生を警戒し、防止する業務

第四号 人の身体に対する危害の発生を、その身辺において警戒し、防止する業務

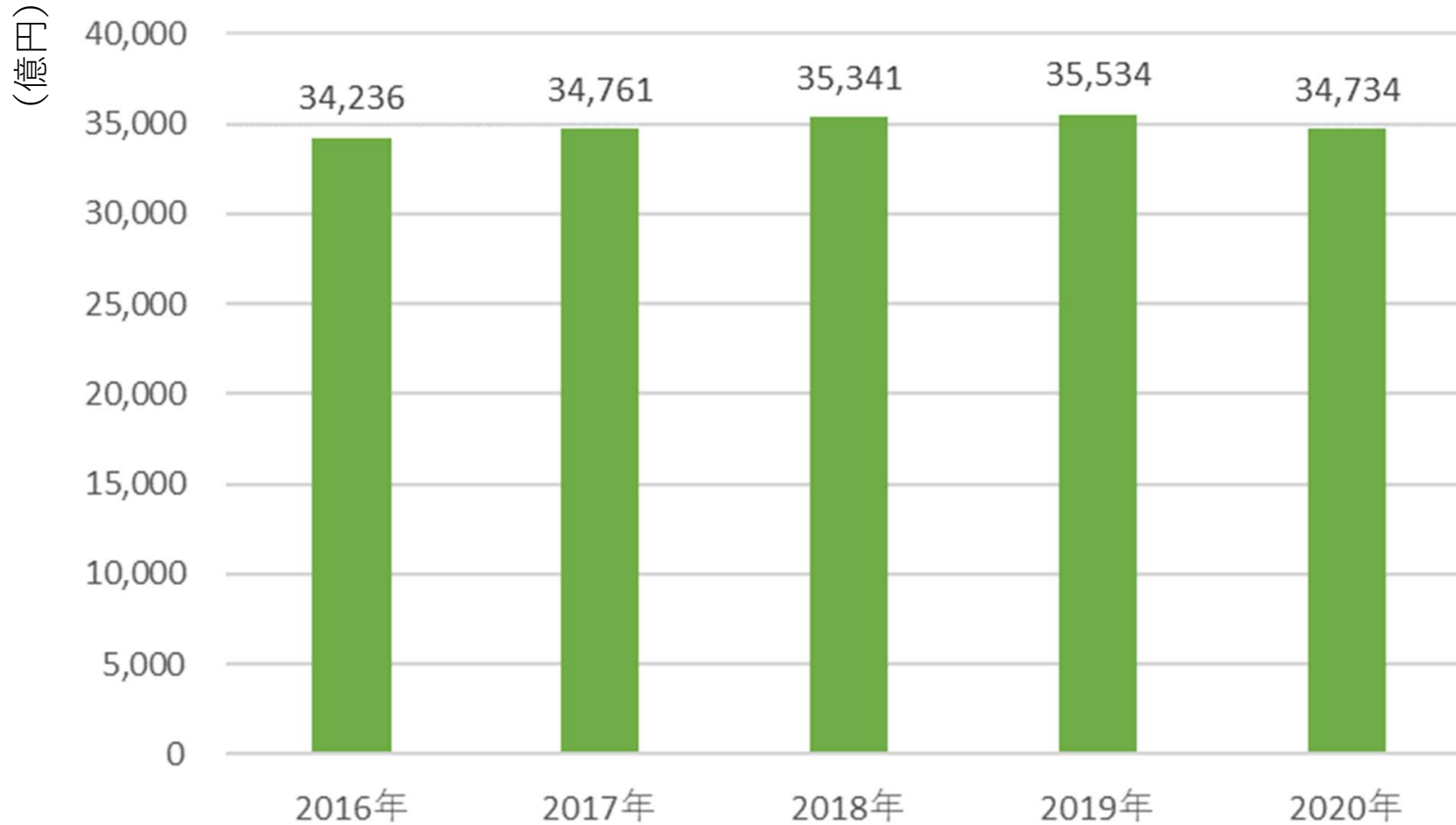
### 認定 第四条

警備業を営もうとする者は、前条各号のいずれにも該当しないことについて、**都道府県公安委員会の認定**を受けなければならない。

# 業界の沿革

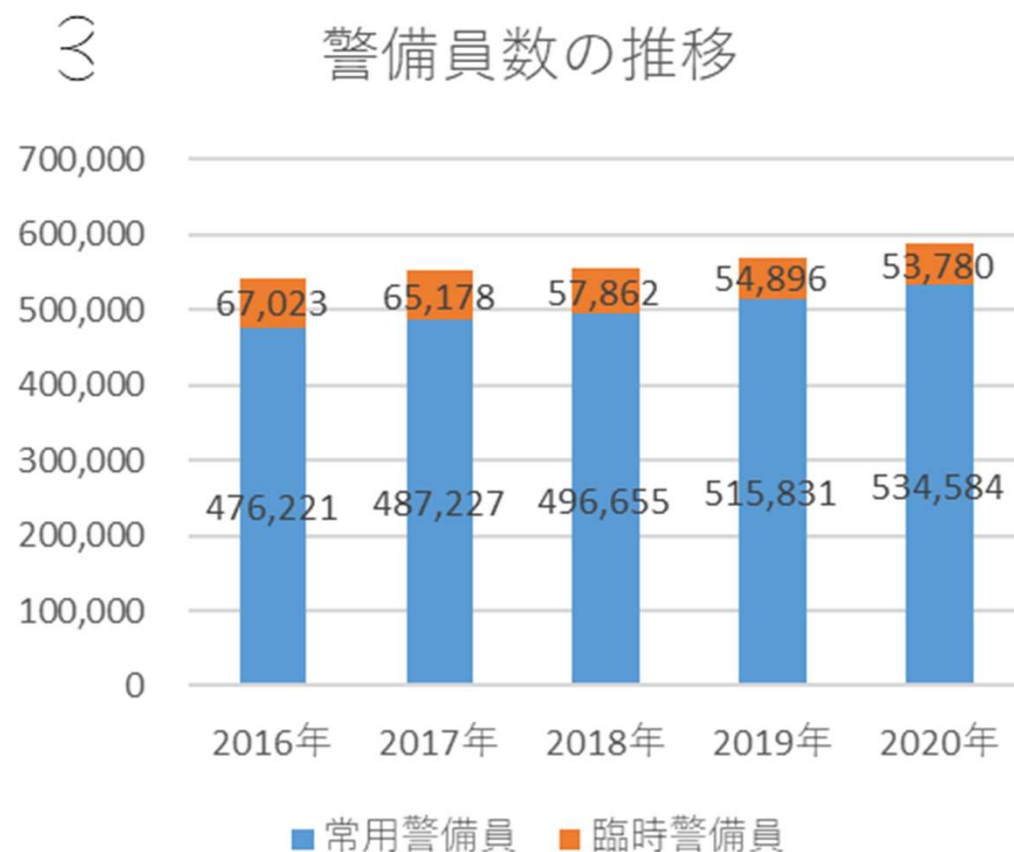
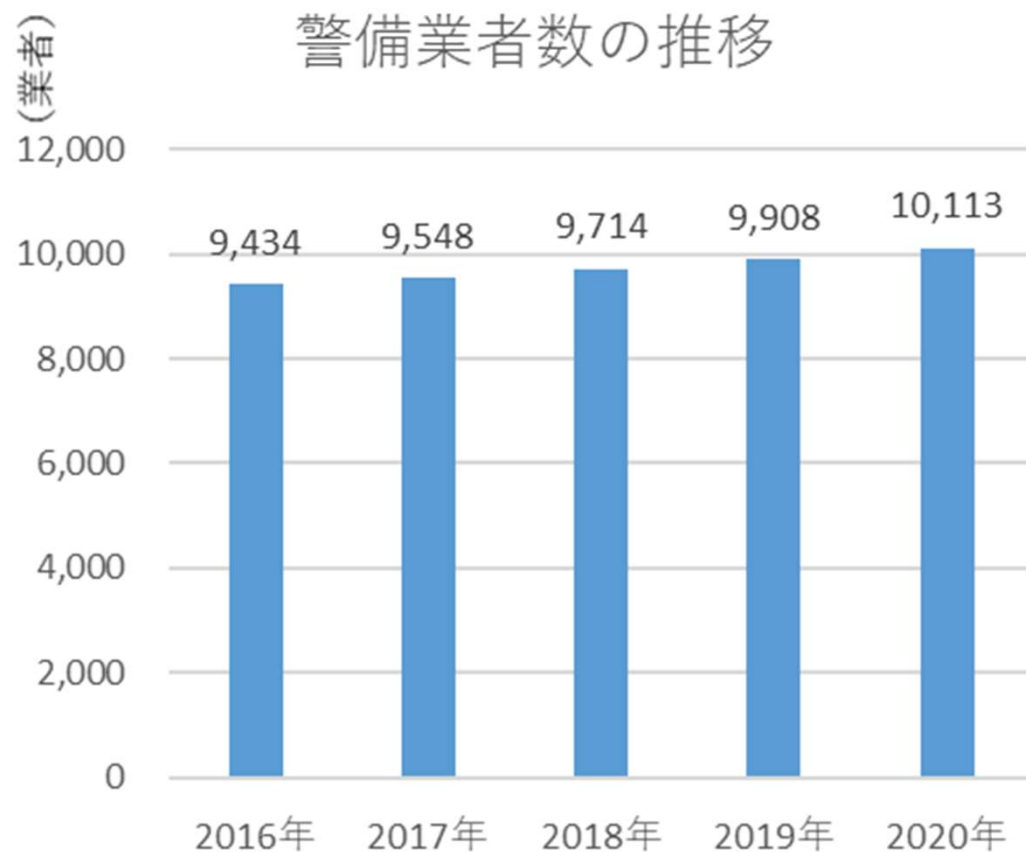
- 1855年 アメリカシカゴに世界最古の警備会社「ピンカートン探偵社」が創業
  - 1962年 日本の警備会社が発祥（大日警とセコムが開業）
  - 1964年 東京オリンピック
  - 1965年 テレビドラマ「ザ・ガードマン」 業界のイメージアップに貢献
  - 1969年 永山則夫によるピストル連続射殺事件（1968年10月～翌4月）
  - 1970年 日本万国博覧会
- 1962年からの10年間で高度経済成長、職住分離などを背景に急成長  
警備員による事件の増加など弊害も
- 1972年 警備業法が施行  
その後、1982年、2002年、2004年に改正
  - 1980年代 それまで企業を顧客にしていた警備業が家庭市場まで大きく進出
  - 1990年代 セキュリティ事業の枠を超え新たな分野へ  
→メディカル事業、保険事業
  - 2001年 9・11同時多発テロ→テロへの対策ニーズ
  - 近年 ネット上のセキュリティ対策ニーズ

# 市場概況と動向（売上高推移）



警察庁HP 警備業の概況より作成

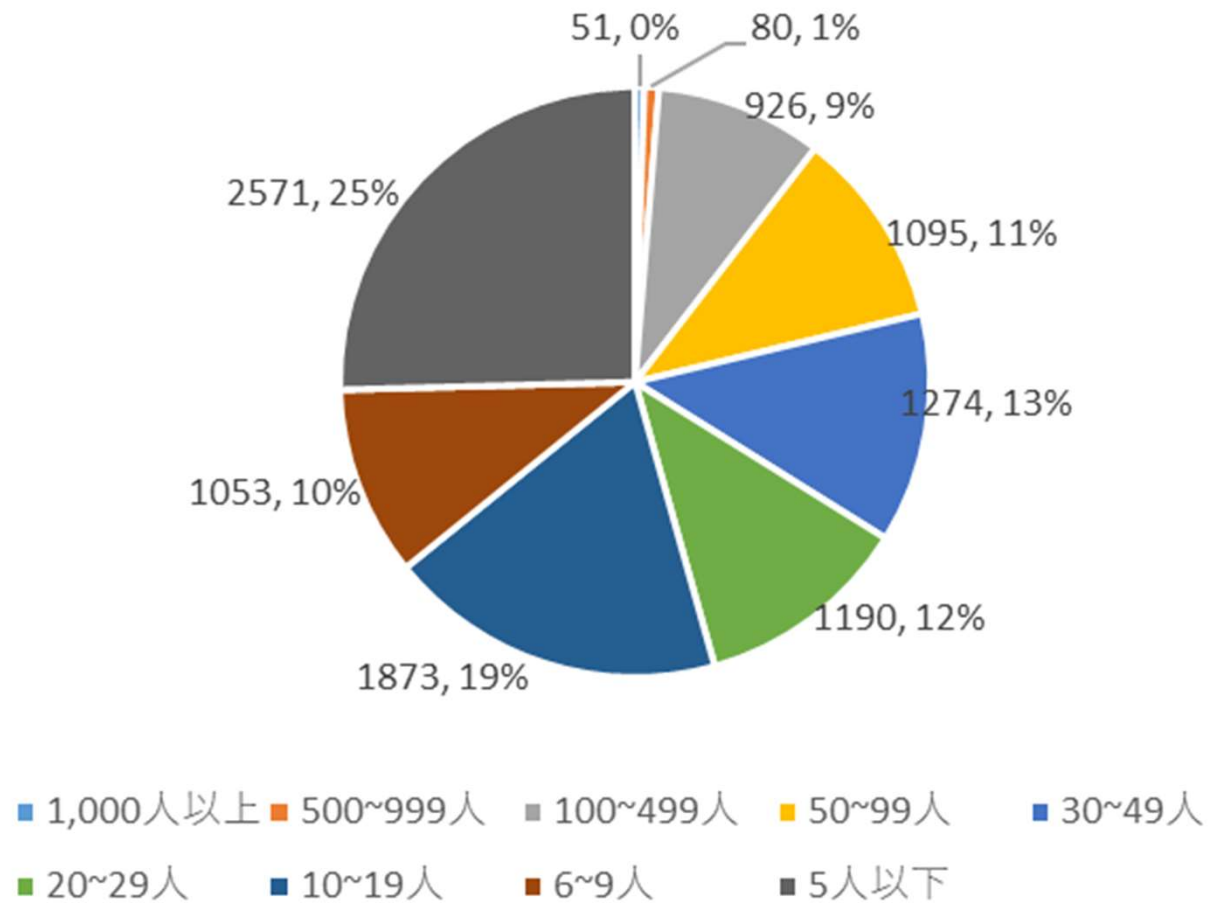
# 市場概況と動向（警備業者数・警備員数）



警察庁HP 警備業の概況より作成

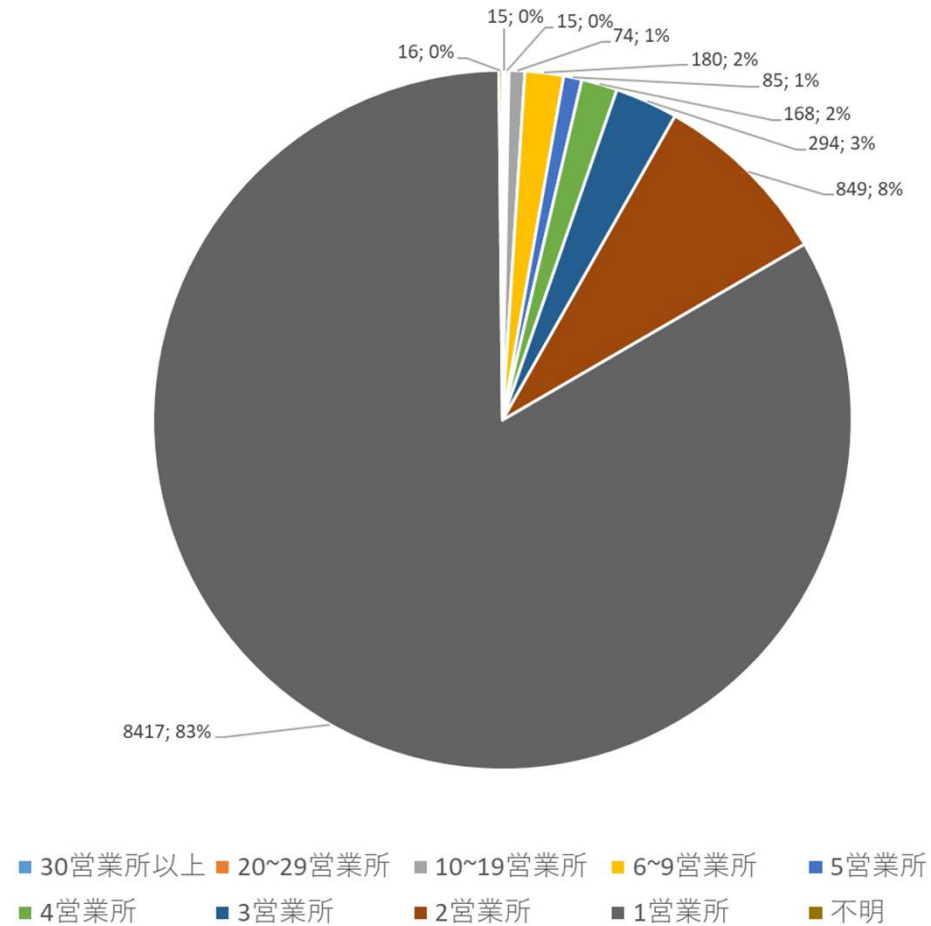


## 市場概況と動向（警備業者の警備員数別の状況）



警察庁HP 警備業の概況より作成

## 市場概況と動向（警備業者の営業所数別の状況）



警察庁HP 警備業の概況より作成

# 警備業務の区分

## 警備業法

- ・ 第一号、第二号、第三号、第四号の4種類に大別される。
- ・ それぞれの業務の中にさらに細かい業務内容と配置基準、必要とされる警備検定資格等が定められている。

→ 「警備業の種類は多い」

「一部の業務には国家資格がある」

「構成比に偏りがある」

# 警備業務の区分（1号業務）

警備需要の約50%を占める中核的な業務

施設における盗難等の事故の発生を警戒し、防止する

高度な警備ノウハウ不要＝参入障壁が低い⇒過当競争になりやすい

- ①施設警備業務・・・契約先施設に警備員が常駐、出入り、鍵の管理等
- ②巡回警備業務・・・複数の契約先施設を警備員が車両等で巡回点検
- ③保安警備業務・・・商業施設における私服又は制服警備員による店内巡回
- ④空港保安警備業務・・・空港のセキュリティスタッフ、専門的で寡占化
- ⑤機械警備業務
  - ・・・契約先施設に各種のセンサー等を設置、異常を感知し現場へ急行する。
  - 資本装備に多額の投資が必要で、対応は資金力がある警備会社のみ

# 警備業務の区分（2号業務）

人や車両が雑踏する場所、通行に危険のある場所で、事故を警戒し、防止する  
工事現場の交通誘導やイベントの雑踏警備等はスポット的な契約が多い。

駐車場の交通誘導等は長期的な契約が多い。

参入障壁が低い＝中小企業が新規参入が相次ぐ⇒過当競争体質が形成

## ①交通誘導警備業務

- ・・・道路工事現場や駐車場など交通に危険があると思われる場所において、  
通行する人や車両の誘導を行う

## ②雑踏警備業務

- ・・・コンサート、花火大会など不特定多数の人々が集まる場所での安全確保

# 警備業務の区分（3号業務）

運搬中の現金、貴金属、美術品等に係る盗難等の事故の発生を警戒し、防止する業務。

業者の数が少なく、定期的な警備業務において指名契約を受けることが多い。

## ①貴重品運搬警備業務

- ・・・重装備の現金輸送車と基地局で情報連絡し現金を運搬  
相当の資本整備が必要、投資力のある大手警備業が中心に担う  
参入障壁の高い分野、寡占化進む

## ②核燃料物質等危険物運搬警備業務

- ・・・原子力関連施設間において核燃料物質等危険物を安全に運搬する  
特殊専門的警備

# 警備業務の区分（４号業務）

人の身体に対する危害の発生を、その周辺において警戒し、防止する業務

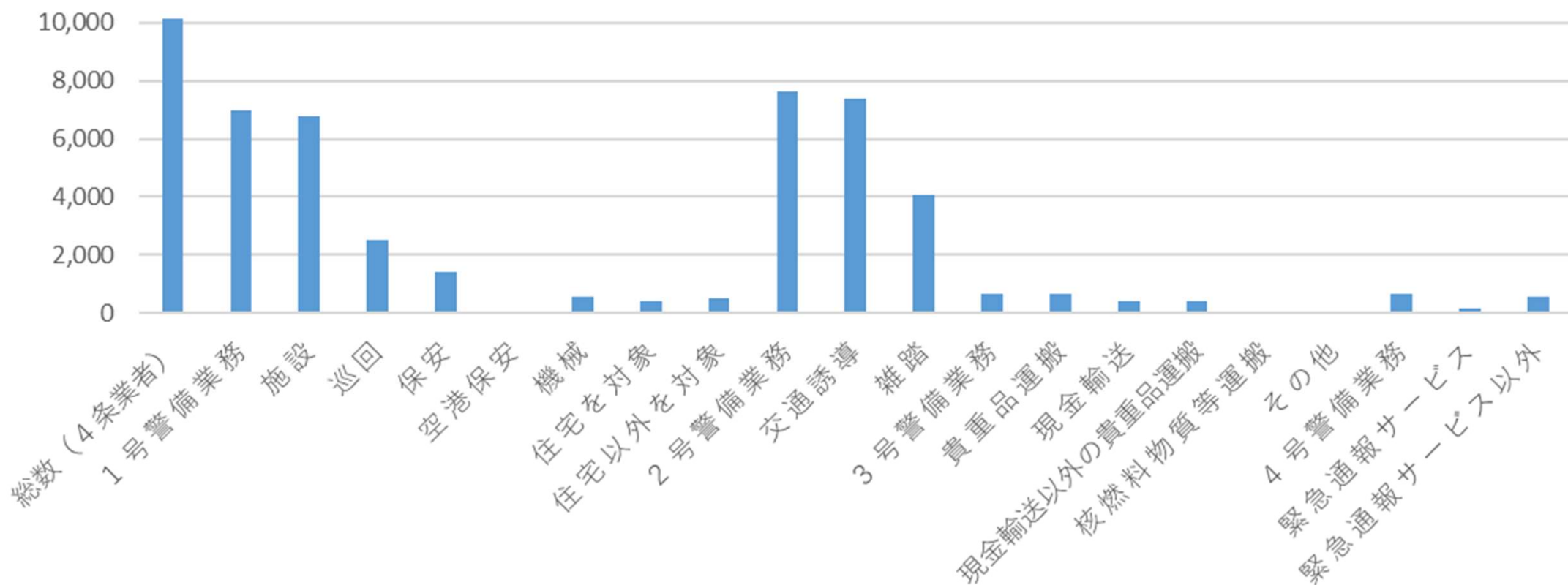
## ①身辺警備

・・・一般的に「ボディガード」と呼ばれているもの。

現在では、政財界の要人、芸能人、スポーツ選手、作家などの  
著名人ばかりでなく、広く一般市民、子供に至るまで対象は拡大。

GPSを利用した「位置情報サービス」や女性や子供などの犯罪弱者  
を対象とした「エスコートサービス」の提供も充実

# 警備業務の区分（区分ごとの警備業者数）



警察庁HP 警備業の概況より作成

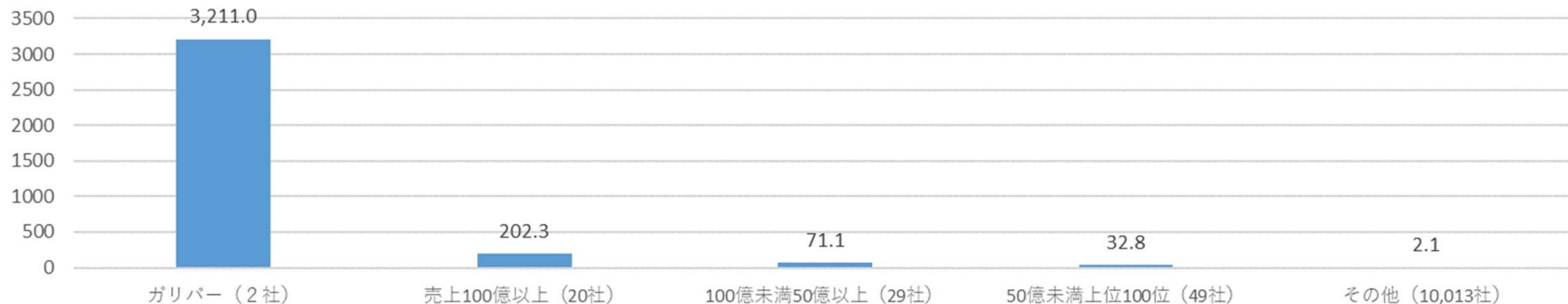


# 警備産業の構造（二重構造の形成）

売上高規模別合計売上高



売上高規模別1社あたり売上高



警察庁HP 警備業の概況より作成

# 警備業界の今後の展開

## ◆将来展望

新しい警備ニーズへの対応

- テロ対策、サイバー攻撃への対応

↑ 官民一体の取り組みが進められる

- 見守り・緊急通報サービスへの進出、ホームセキュリティの展開

↑ インターネットの普及で簡単に機械サービス導入が可能

## ◆直面する課題

- 警備業界の明確な二重構造から急速に進む産業構造の再編への対応
- 警備員の労働環境の改善と良質な警備員の確保

過当競争と人材不足、警備料金、警備員の賃金見直し、労働環境の改善

# 主要企業売上順位

売上高ランキング(2020年)

順位	企業名	売上高(億円)
1	セコム	3,989
2	総合警備保障	2,432
3	セントラル警備保障	556
4	アサヒセキュリティ	472
5	全日警	409
6	セノン	258
7	セコム上信越	217
8	グリーン警備保障	212
9	にしけい	205
10	セコムジャスティック	197
11	コアズ	184
12	シンテイ警備	168
13	東洋テック	151
14	A L S O K常駐警備	134
15	サンエス警備保障	118

「警備保障タイムズ」アンケート調査より作成

# 分析 3 社の概要

	セコム株式会社 (SECOM) 2021年3月期	総合警備保障株式会社 (Sohgo Security Services) 2021年 3 月期	セントラル警備保障株式会社 (CENTRAL SECURITY PATROLS) 2021年2月期
本社所在地	東京都渋谷区	東京都港区	東京都新宿区
創業／設立	1962年7月	1965年7月	1966年3月
事業内容	セキュリティサービス事業、 防災事業、メディカルサービ ス事業、保険事業、地域空間 情報サービス事業、BPO・ ITC事業、不動産、その他	セキュリティ事業、総合管 理・防災事業、介護事業、そ の他	セキュリティ事業、ビル管 理・不動産事業
資本金	66,410百万円	18,675百万円	2,924百万円
売上高	1,035,898百万円	469,920百万円	67,443百万円
営業利益	136,925百万円	37,182百万円	4,585百万円
当期純利益	85,888百万円	26,885百万円	3,346百万円
従業員数	59,436人	38,444人	6,514人
連結子会社数	165社	75社	14社

# セコム株式会社

防犯対策やセキュリティ、警備ならセコム株式会社



信頼される安心を、社会へ。

## • セコムグループが実施すべき事業の憲法

基本理念である「社会に有益な事業を行う」を常に考えの根底にすえ、事業の選択を行うべきであり、いささかも逸脱をしてはならない。

運営基本10カ条

1. セコムは社業を通じ、社会に貢献する
2. セコムは、社会に貢献する事業を発掘、実現しつづける責任と使命を有する。
3. . . .

## • 特徴・トピックス

日本初の警備会社で、機械警備のパイオニア  
知名度は圧倒的で業界NO. 1企業  
医療、保険、不動産など多角的な事業展開  
海外を強化中



ホームセキュリティ



セキュリティ・災害対策・医療・情報・AED・保険  
テレワーク支援

# セコム株式会社（沿革）

- 1962年7月 わが国初の警備保障会社、日本警備保障（株）を創業
- 1964年10月 東京オリンピックの選手村などの警備を受注
- 1966年 日本初のオンライン安全システム「SPアラーム」を開発
- 1978年 台湾に初の海外進出
- 1981年 日本初の家庭用安全システム「マイアラーム」を開発
- 1983年 情報系事業に進出
- 1991年 「在宅医療サービス」の開始
- 1998年～2006年 保険事業（1998）、地理空間情報サービス事業（1999）、不動産事業（2000）、防災事業（2006）を開始
- 2017年 「セコム・ホームセキュリティNEO」
- 2018年 「セコムみまもりホン」を発売、家庭向けのサービスを拡充
- 2020年 新しい高齢者向けの見守りサービス「まごチャンネル with SECOM」を開始

# セコム株式会社

## ◆セグメント情報

- セキュリティサービス事業

オンライン・セキュリティシステム、常駐警備、現金護送、安全商品・その他

- 防災事業・・・火災報知設備、消火設備、保守点検

- メディカルサービス事業

在宅医療サービス、シニアレジデンスの運営、ICTを活用したメディカルサービス、医療機器・医薬品の販売、提携病院の運営支援

- 保険事業・・・火災保険、自動車保険、がん保険

- 地域空間サービス事業

国内公共向けサービス、国内民間向けサービス、海外向けサービス

- BPO・ITC事業

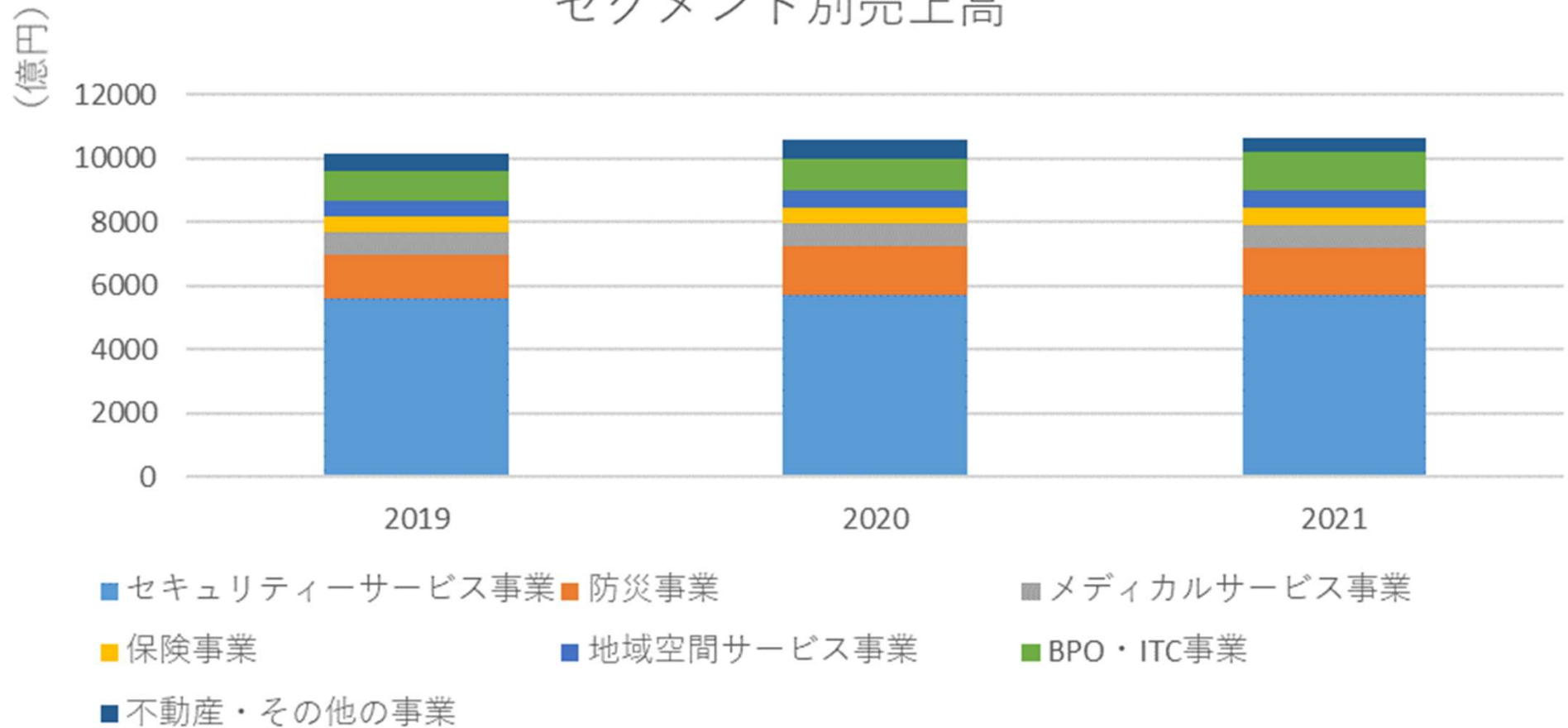
データセンター、大規模災害対策サービス、情報セキュリティサービス、クラウドサービス、BPOサービス

- 不動産・その他事業・・・建築設備工事、不動産賃貸、ホームサービス

	セキュリティサービス事業
	防災事業
	メディカルサービス事業
	保険事業
	地理空間情報サービス事業
	BPO・ICT事業
	不動産・その他の事業 <sup>※4</sup>

# セコム株式会社

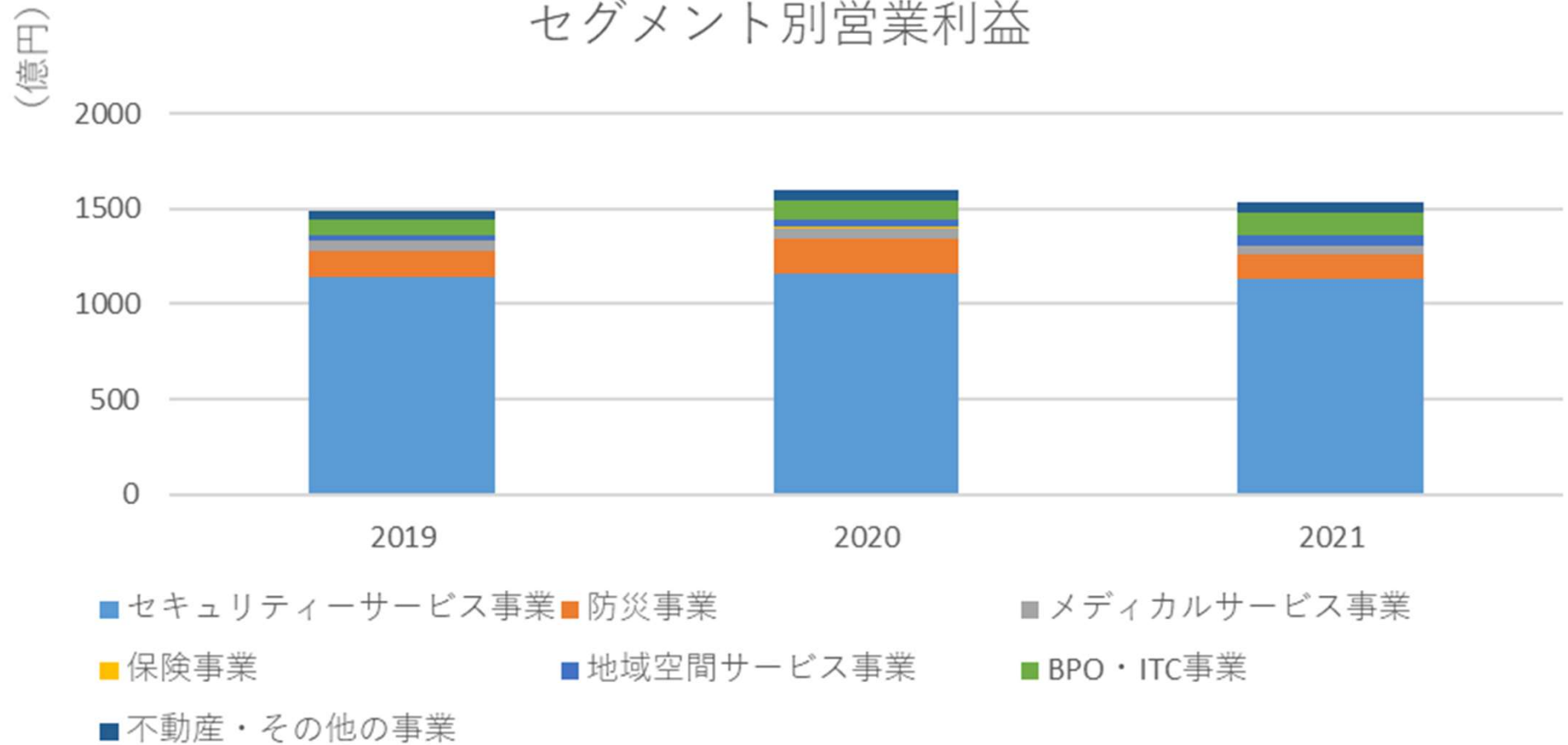
## セグメント別売上高





# セコム株式会社

## セグメント別営業利益



# セコム株式会社（課題）

## 2030ビジョン

- あんしんプラットフォーム構想
  1. 時間や空間にとらわれないサービスの提供
  2. 一人ひとりのお客様に寄り添った最適なサービスの提供
  3. 安心してフォーカスした切れ目のないサービスの提供

最新情報技術の活用、価値拡大、グループの総力結集、  
パートナー参画で安心ニーズに応える社会インフラを提供

- グローバル展開

Step 1 アジアはじめ新興国へのSECOMブランドの浸透

Step 2 海外でもANSHINプラットフォームを展開



「あんしんプラットフォーム」構想の実現により、  
変わりゆく社会に、変わらぬ安心を。

# 総合警備保障株式会社



## • 経営理念

我が社は、「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって社業を推進し、お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす。

## • 特徴・トピックス

現金警備輸送では日本通運に次ぐ2位となるなど金融機関に強い。

住宅メーカー等と提携、家庭向けサービスを強化

介護にも注力する



# 総合警備保障株式会社（沿革）

- 1965年 7月 会社設立
- 1970年 3月 大阪万国博覧会警備
- 1975年10月 機械警備と常駐警備を併用したシステム稼動
- 1988年 4月 ホームセキュリティ発売
- 1997年4月 多機能型EC端末(現：多機能型ATM)「MMK」発売
- 1998年 一般家庭向け「S O K ホームセキュリティ」を開発・発売
- 2003年7月 コーポレートブランドをSOKからALSOKへ変更
- 2005年4月 小学校への防犯授業「ALSOKあんしん教室」を全国展開
- 2007年10月 タイ王国に「ALSOK(Thailand)Co.,Ltd.」を設立
- 2008年6月 「情報警備事業」を立ち上げ
- 2012年 介護事業に参入（10月）、「ホーチキ(株)」を持分法適用子会社化（11月）
- 2017年2月 「ALSOK昇日セキュリティサービス(株)」を子会社化

# 総合警備保障株式会社

## ◆セグメント情報

### • セキュリティ事業

機械警備業務、常駐警備業務、警備輸送業務

### • 総合管理・防災事業

各種建物設備の修繕リニューアル工事・管工事・電気工事、防火・防災業務、設備管理業務

### • 介護事業

居宅介護支援、在宅系介護サービス、施設介護サービス、福祉用品の販売・レンタル

### • その他事業

情報セキュリティ、各種検査、警備ロボット、各種コンサルティングサービス

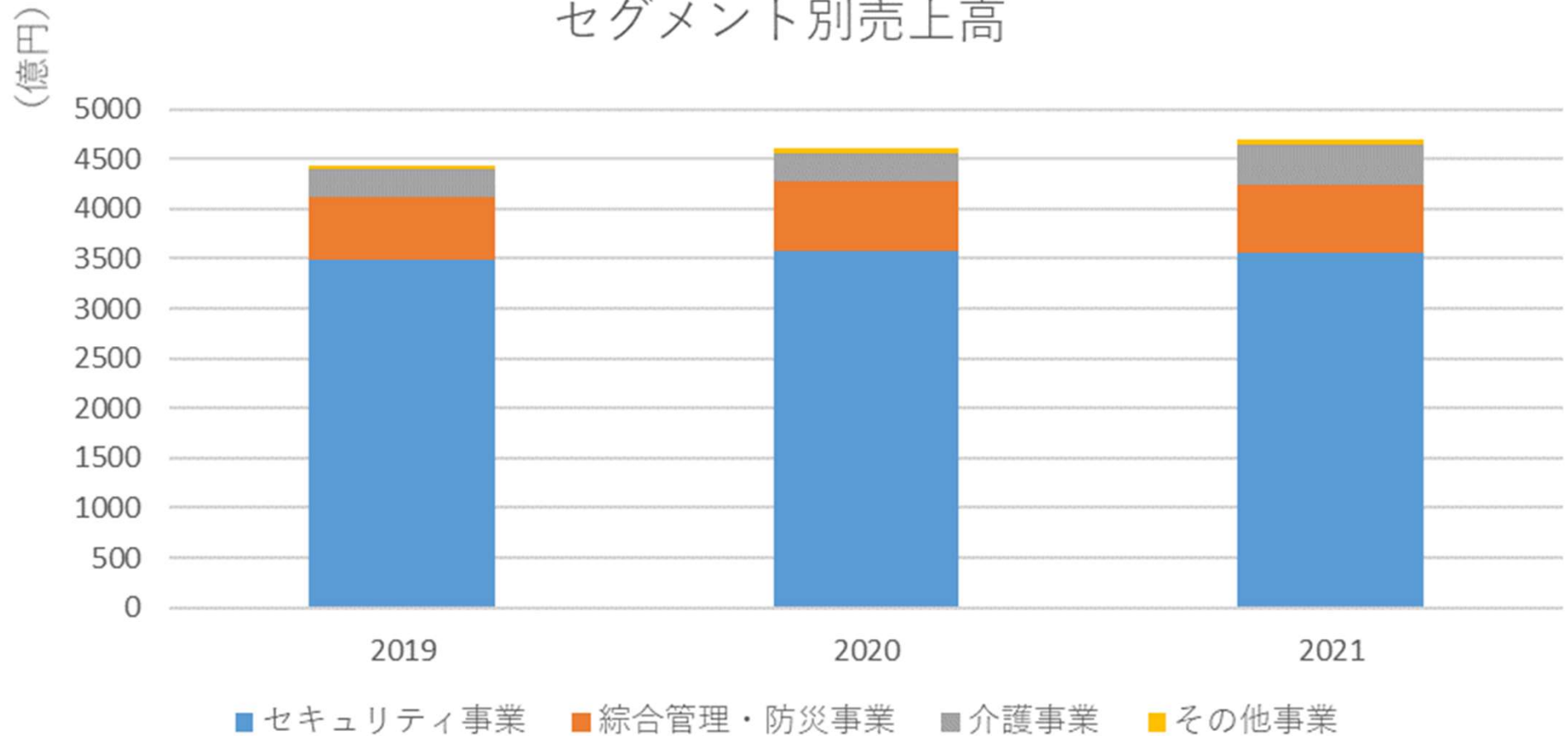


 **ALSOKの介護**



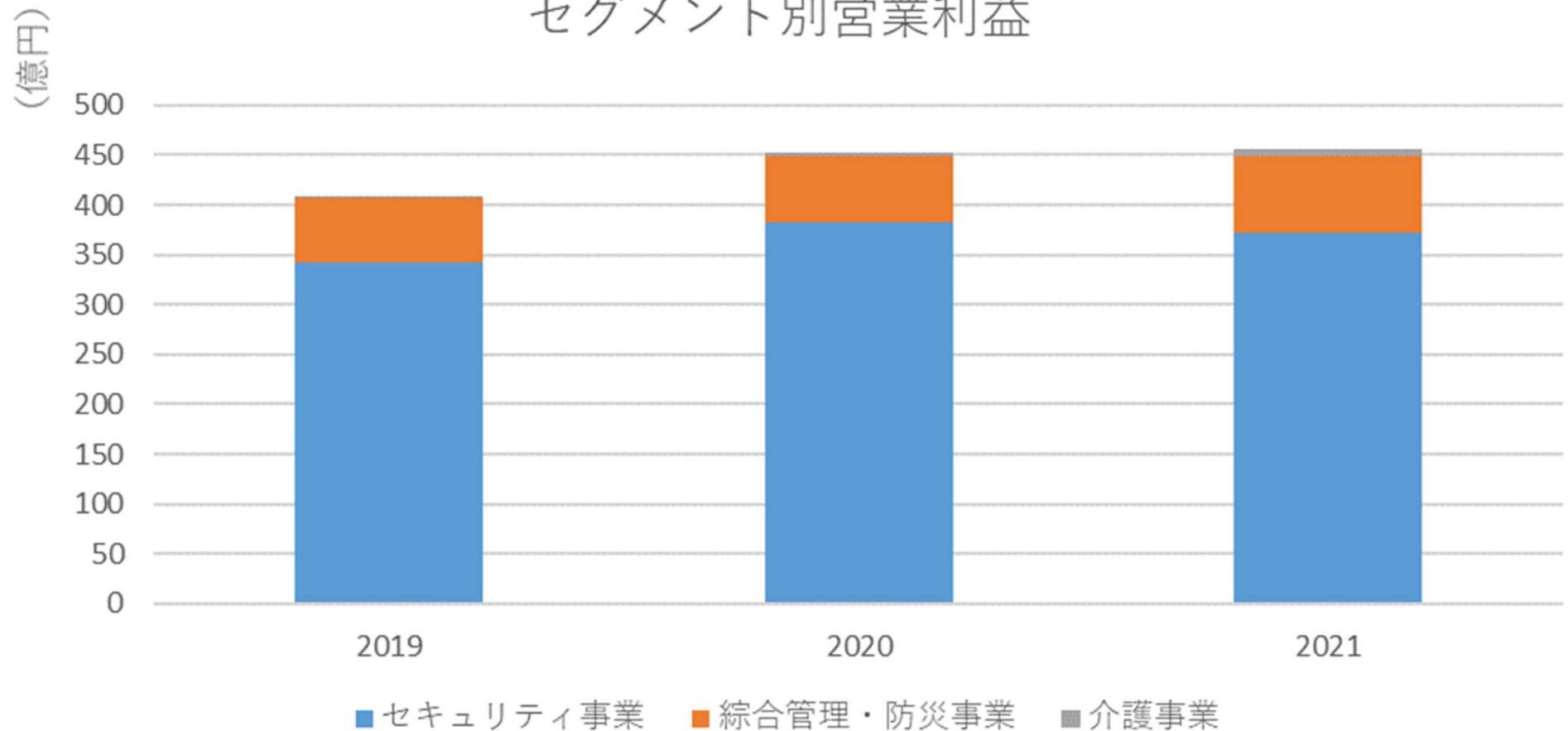
# 総合警備保障株式会社

## セグメント別売上高



# 総合警備保障株式会社

## セグメント別営業利益



# 総合警備保障株式会社（課題）

## G D 2 0 2 5（Grand Design 2025）の基本方針

### 1. 社会の多様な安全・安心ニーズへの対応能力の強化

社内インフラ強化×サービス組み合わせ×外部との連携

### 2. デジタル化とデータ活用

顧客とのコミュニケーション、データ活用、オペレーション効率化

### 3. 社員が活躍できる環境の構築

人材多様化×業務対応能力の多様化

### 4. サステナビリティへの取組強化

ガバナンス強化、S D G s、環境問題

リスクが多様化する社会の中で、拡大する安全・安心ニーズに対応すべく、  
警備ビジネスモデルの変革を推進し、強靱な「総合安全サービス業」を目指す。



# セントラル警備保障株式会社



- 創業の精神

- 一、仕事を通じて社会に寄与する
- 一、会社に関係するすべての人々の幸福を追求する

- 特徴・トピックス

常駐警備が売り上げの約5割  
筆頭株主 J R 東日本向けの  
売上比率は2割強。  
現在、機械警備を強化している。



## セントラル警備保障株式会社（沿革）

- 1966年 3 月 常駐警備を主たる事業目的とするセントラル警備保障株式会社を設立
- 1972年 4 月 日本セントラルシステム株式会社との合併により、  
機械警備を主たる事業目的とするセントラルシステム警備株式会社を設立
- 1979年 3 月 セントラルシステム警備株式会社はセントラル警備保障株式会社を吸収合併し、  
セントラル警備保障株式会社に商号を変更
- 1983年 8 月 ソウル市に大韓海運社等と共同出資にて大韓中央警備保障株式会社を設立
- 1988年12月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場
- 1997年12月 東日本旅客鉄道株式会社と「業務提携基本契約」を締結
- 2004年 2 月 東京証券取引所市場第一部に株式を上場
- 2004年 8 月 水戸市の株式会社安全警備よりセキュリティ事業に関する営業の全部を譲受け
- 2014年10月 長野県の株式会社H O P E の株式を取得
- 2016年 9 月 神奈川県の警備保障会社、株式会社特別警備保障の株式を取得

# セントラル警備保障株式会社

## ◆セグメント情報

- セキュリティ事業

常駐警備、機械警備

輸送警備、機器販売及び工事

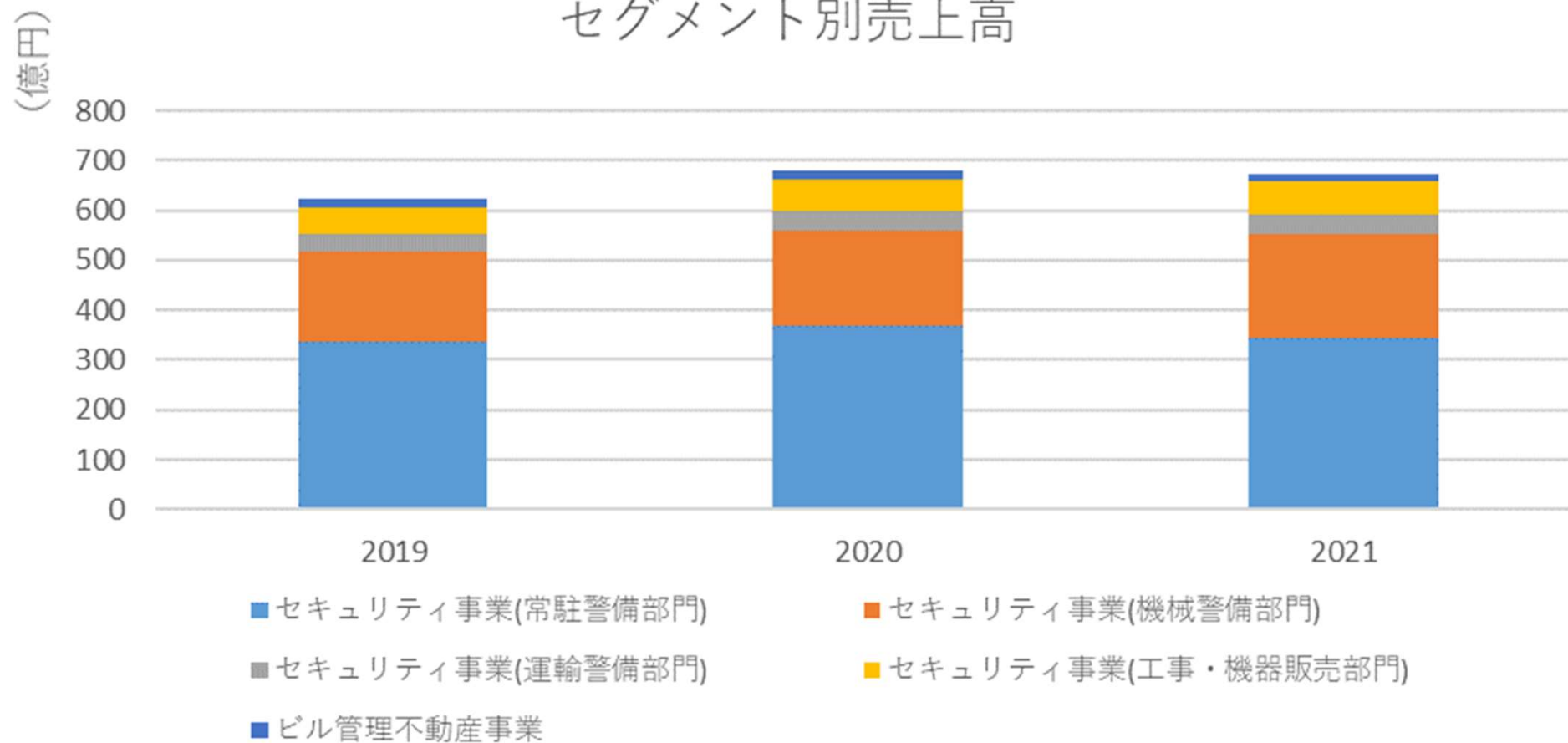
- 不動産・ビル管理

清掃業務や電気設備の保安業務等を中心とする  
建物総合管理サービス及び不動産賃貸



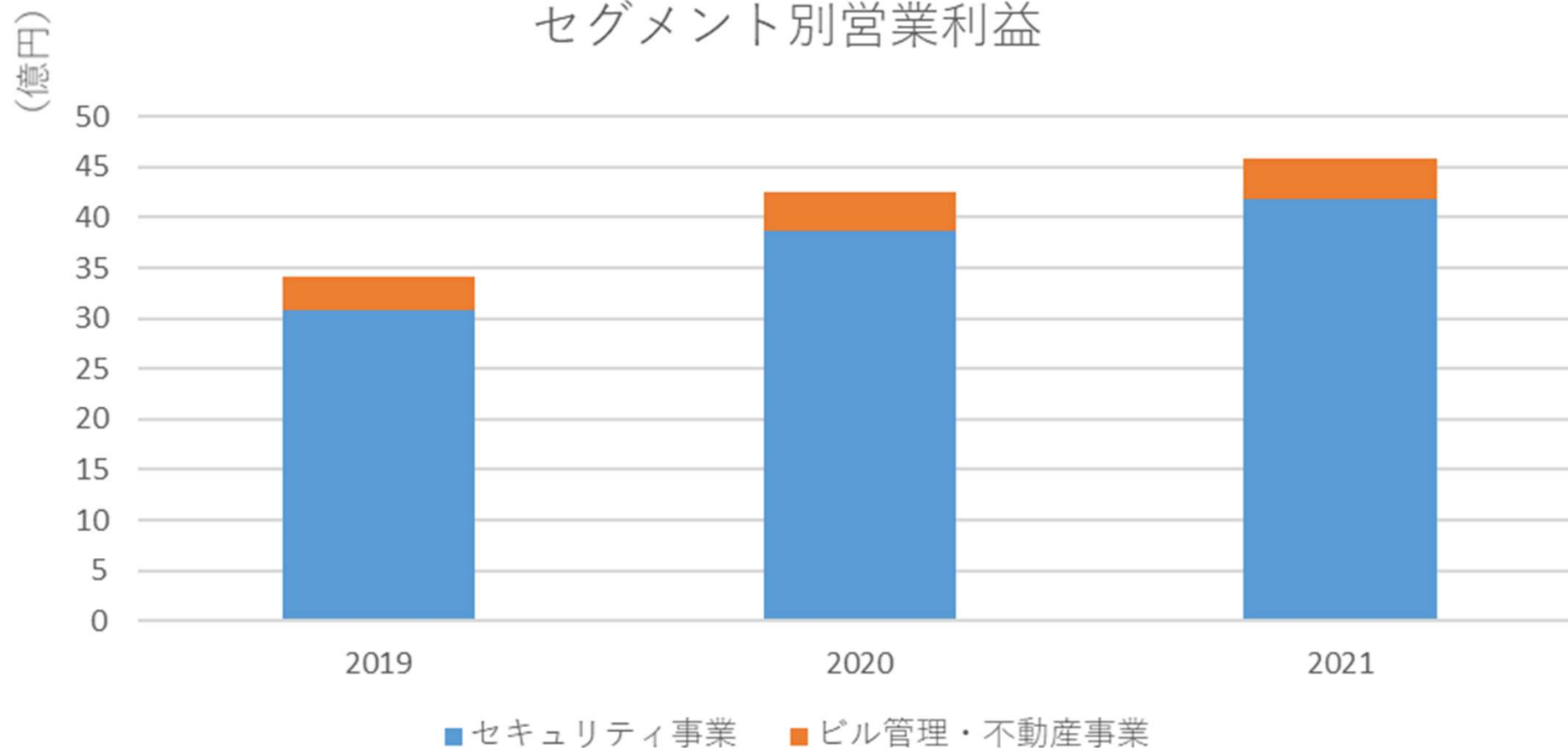
# セントラル警備保障株式会社

## セグメント別売上高



# セントラル警備保障株式会社

## セグメント別営業利益



# セントラル警備保障株式会社（課題）

## Creative 2 0 2 5

2025年2月期以降の大規模開発事業（品川地区等）へのサービスの提供を目指し、策定

### 1．技術力の強化

DXの推進、新のビジネス展開（画像、警備ロボット・ドローン、データ分析）

### 2．収益力の向上

高収益事業へ経営資源を集中（オーダーメイドの常駐警備、機械警備、セキュリティコンサル）

### 3．基盤の最適化

DX推進、女性活躍他ダイバーシティへの取り組み、人材育成

### 4．グループ連携の強化

地域補完、事業補完目的のM&A推進

安全と信頼を創造する技術サービス企業を目指す

**Creative Security Partner**

～常識を超えろ、昨日までの安心を超えろ～

# 個人演習

財務諸表等から読み取れる各社の強みや経営課題等の分析

	着目した経営指標	強みや経営課題
1		
2		
3		
その他気がついたこと		